

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 東側交通・交流拠点整備（原地区）に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾・盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	2	調査位置	広島県福山市鞆町後地地先	北緯	34° 23' 28.3800"
発注機関	広島県東部建設事務所		調査期間	令和3年11月30日～令和3年12月8日	
調査業者名	主任技師		現代理人	コア確定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -0.90m	角 度	方 向	地盤勾配	使用機種
総削孔長	24.00m	180° 上 90° 下 0°	0°北 270°西 90°東 180°南	0°鉛直 90°	東邦地下工機D-1型
			エンジン	ポンプ	
			ヤンマーディゼルNFD-12	東邦地下工機DG-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日		
											N値	深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	採取方法				
1	-3.40	2.50	シルト混り砂	粘土質シルト	淡緑灰	rd1			細礫を多く混入する。 含水は少～中位である。 砂分は微細～細砂主体で均一である。		6	1.15	2	2	2	6	1.15	P-1	○		11/30
2	-3.80	2.90	粘土質シルト	粘土質シルト	淡緑灰				含水は中位である。均質である。		1	1.45	1	1	1	450	1.45	P-2	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	12/1
3	-7.10	6.20	砂礫	砂礫	淡褐灰				礫は垂角～角礫であり、大きさはφ5～15mm程度である。 マトリックスは細砂である。 貝殻細片を少量混入する。		16	2.80	6	4	6	16	2.80	P-3	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
4	-7.10	6.20	砂礫	砂礫	淡褐灰				マトリックスは細砂である。 貝殻細片を少量混入する。		16	3.15	7	4	5	16	3.15	P-4	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
5	-7.10	6.20	砂礫	砂礫	淡褐灰				マトリックスは細砂である。 貝殻細片を少量混入する。		15	3.45	4	4	5	16	3.45	P-5	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
6	-7.10	6.20	砂礫	砂礫	淡褐灰				マトリックスは細砂である。 貝殻細片を少量混入する。		15	4.15	5	5	5	15	4.15	P-6	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
7	-8.20	7.30	粘土質シルト	粘土質シルト	暗灰				含水は多い。 細礫を少量混入する。		3	4.45	1	1	1	3	4.45	P-7	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界 圧密、一軸圧縮試験	
8	-8.20	7.30	粘土質シルト	粘土質シルト	暗灰	rd2			細礫を少量混入する。		8	5.15	2	3	3	8	5.15	T-1	①	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界 圧密、一軸圧縮試験	
9	-9.35	8.45	礫混り粘土	礫混り粘土	暗青灰				硬質な礫を混入する。 含水は中～少ない。 礫は垂角礫であり、最大φ50mmである。		11	7.45	3	3	3	11	7.45	P-8	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	12/2
10	-10.70	9.80	砂礫	砂礫	暗青灰				礫層を10～30cmの腐厚で層状に挟む。 礫は垂角礫でφ10～30mm程度の大きさである。 マトリックスは微細砂～細砂主体である。		27	7.75	9	8	10	27	7.75	P-9	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界 圧密、一軸圧縮試験	
11	-10.70	9.80	砂礫	砂礫	暗青灰				礫層を10～30cmの腐厚で層状に挟む。 礫は垂角礫でφ10～30mm程度の大きさである。 マトリックスは微細砂～細砂主体である。		32	8.15	11	10	11	32	8.15	P-10	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
12	-10.70	9.80	砂礫	砂礫	暗青灰				礫層を10～30cmの腐厚で層状に挟む。 礫は垂角礫でφ10～30mm程度の大きさである。 マトリックスは微細砂～細砂主体である。		20	11.15	3	8	9	20	11.15	P-11	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
13	-13.60	12.70	礫混り砂質粘土	礫混り砂質粘土	淡褐灰				円礫φ10mm程度を混入する。 部分的に淡白色の凝灰質粘土が挟在する。		12	12.15	3	8	9	20	12.15	P-12	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界 圧密、一軸圧縮試験	12/3
14	-15.00	14.10	砂礫	砂礫	黄褐灰				礫は垂角礫φ10～30mm程度を混入する。 マトリックスは細砂主体である。		32	12.45	9	15	8	32	12.45	D-2	②	土粒子の密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界 圧密、一軸圧縮試験	
15	-15.00	14.10	砂礫	砂礫	黄褐灰				礫は垂角礫φ10～30mm程度を混入する。 マトリックスは細砂主体である。		20	13.15	6	7	7	20	13.15	P-14	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
16	-17.40	16.50	砂礫	砂礫	黄褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ50mm程度を混入する。 マトリックスは粘土分・微細砂主体である。		16	14.15	4	5	7	16	14.15	P-15	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
17	-17.40	16.50	砂礫	砂礫	黄褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ50mm程度を混入する。 マトリックスは粘土分・微細砂主体である。		22	15.15	6	7	9	22	15.15	P-16	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
18	-19.90	19.00	粘土混り砂礫	粘土混り砂礫	黄褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		24	16.45	7	8	9	24	16.45	P-17	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	12/6
19	-19.90	19.00	粘土混り砂礫	粘土混り砂礫	黄褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		20	17.45	6	6	8	20	17.45	P-18	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
20	-24.90	24.00	砂礫	砂礫	褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		20	18.45	9	9	14	32	18.45	P-19	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	12/7
21	-24.90	24.00	砂礫	砂礫	褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		32	19.25	12	10	10	32	19.25	P-20	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
22	-24.90	24.00	砂礫	砂礫	褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		50以上	20.15	41	9	50	110	20.15	P-21	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	12/8
23	-24.90	24.00	砂礫	砂礫	褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		50以上	21.15	17	18	15	60	21.15	P-22	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
24	-24.90	24.00	砂礫	砂礫	褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		50以上	22.15	18	16	16	50	22.15	P-23	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	
25	-24.90	24.00	砂礫	砂礫	褐灰				礫は垂角礫～角礫であり、最大φ30mm程度で、細砂を主体とする。 マトリックスは粘土分・細砂主体である。		50	23.45	18	16	16	50	23.45	P-24	○	土粒子の密度、自然含水比、粒度	

